

# 平成31年度 研究推進計画

岩国市立東小学校

|                      |   |
|----------------------|---|
| <p>研究主題</p>          | <p>キャリア教育を柱とした小中一貫教育の構築<br/>～ かかわり合う活動を通じた表現力の育成 ～</p>  |
| <p>主題設定の理由及び研究仮説</p> | <p>岩国市では、小学校と中学校の義務教育9年間を通して継続的で一貫性のある教育を行う「小中一貫教育」の導入を進めている。そしてこの取組をさらに発展させるため、本校は令和2年度に施設一体型小中一貫校としての開校を予定しており、小中一貫教育をスタートさせる。また、平成31年度からの2年間、「岩国市小中一貫教育に係る確かな学力推進研究校」の指定を受け、東中学校区4校で「小中一貫教育」を意識した取組について実践研究を行っていく。</p> <p>東中学校区では、「ふるさとを愛し、ふるさとの人々からも愛される子どもたちの育成」を目標として小中一貫教育に取り組み、その大きな柱としてキャリア教育を掲げている。キャリア教育で育成すべき4つの基礎的・汎用的能力をもとに、12のキーワードを設定し、9年間の系統的な指導を行っていく。</p> <p>本校は平成29年度から2年間、研究主題を「かかわり合う活動を通して、自分の思いや考えを豊かに表現する子どもを育てる」として研究を進めてきた。ここでは、児童が互いにかかわり合いたくなるような場や状況を設定することを意識して授業改善を行っており、その結果、かかわり合うことで友だちの意見を参考にして自らの知識を増やしたり、考えを深めたりすることにつながり、児童の主体的に学ぼうとする力や意欲が高まってきた。</p> <p>一方、かかわり合いの場の効果的な仕組み方については、まだある一定の課題が見られる。また、児童につけたい力を教師が明確にもったうえで、表現ツールや表現の場を工夫して授業づくりを行う必要があることも課題の一つとして再認識した。</p> <p>以上のことから、今年度の研究主題を「キャリア教育を柱とした小中一貫教育の構築」として、9年間を見通した指導のあり方について研究を進めていくことにする。また、副題を「かかわり合う活動を通じた表現力の育成」とし、教科の特性を生かしたうえでキャリア教育の12のキーワードを意識しながら、児童にどのような表現力を高めていくことができるかを研究していきたい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈研究仮説〉<br/>キャリア教育の12のキーワードを意識した単元計画や学習を設定することによって、児童の表現力を高めることができるであろう。</p> </div> |
| <p>研究の進め方・研修計画</p>   | <p>1 研究の進め方<br/>研究主題解明のための日常的な取組において、共通実践や比較実践がしやすい同学年部を母体として研究を進め、年間に一人1回以上の授業公開を行う。全体での授業研究を東中学校と合同で年間2回実施し、上学年部・下学年部から各1回ずつ提案授業を行う。授業後には研究協議を設け、研究主題に照らして検討を行う。</p> <p>2 研修計画<br/>4～5月 研究主題決定、研究推進計画立案、研修年間計画作成<br/>6～12月 研究主題解明のための研究実践、「家庭学習の手引き」や家庭学習パワーアップ週間を活用した学習習慣の形成、授業研究や授業公開<br/>1～3月 「研修のまとめ」作成、研究の反省</p>   |
| <p>研究組織</p>          | <pre> graph TD     Principal[校長] --- Head[教頭]     Head --- Learning[学びの部会]     Learning --- Research[全体研修]     Research --- Lower[下学年部]     Research --- Upper[上学年部]     Lower --- L1[1年部]     Lower --- L2[2年部]     Lower --- L3[3年部]     Lower --- L4[なかよし学級]     Upper --- U4[4年部]     Upper --- U5[5年部]     Upper --- U6[6年部]     Upper --- U7[なかよし学級]     </pre>   |

